

Google の名誉毀損・ハラスメントへのアプローチ及び 検討アジェンダ案へのコメント

総務省 誹謗中傷等の違法・有害情報への対策に関するワーキンググループ

2023年3月3日



グーグル合同会社

本日のアジェンダ

- 1) はじめに:プラットフォームサービスとしての使命と責任
- 2) 本日の前提
- 3) 明確にすべき点
- 4) 今後に向けて



はじめに：
プラットフォームサービスとしての使命と責任



Google の使命は、
世界中の情報を整理し
世界中の人がアクセスできて使
えるようにすることです。



YouTube の使命は、
表現する場所をあらゆる人に
提供し、その声を世界中に届
けることです。



本日の前提

- 検討アジェンダで挙げられている検討事項は多岐にわたり、中には表現の自由やプライバシーなどの基本的権利の法的問題を引き起こし、インターネットユーザーの生活に影響を与える可能性のある非常にセンシティブなテーマも含まれています。
- Google は、これらの論点のうち、透明性・アカウントビリティの確保については、一般的な重要性には同意しますが、具体的な規制の手法については更なる議論が必要と考えます。
- 一方、透明性・アカウントビリティの確保以外に挙げられている検討事項(紛争解決手続、モニタリング、削除義務など)は、様々な観点から極めて慎重な評価が必要な問題です。法的な観点から、特に表現の自由や適正な法的手続きを含む基本的な人権を考慮する必要があることはもちろん、拙速に非現実的な制度を設計することがないように、プラットフォーム上で生じる問題について実務的な観点からの理解を深めていただくことが重要と考えます。これらの検討事項について引き続き議論される場合には、あらためて Google の経験に基づく意見を述べさせていただければ幸いです。



明確にすべき点

- セーフハーバーの重要性
- 透明性の重要性
- プラットフォーム事業者の限界への配慮
- プラットフォーム上の膨大な量のコンテンツ
- 意味のあるデータ開示(誤解を招かない開示)の必要性
- 信頼できるフレームワークと運用の重要性
- 柔軟性がキーであること
- すべてのステークホルダーの役割、責任、協力



今後にむけて

- プラットフォームサービスは、自社サービスの特性に応じた効果的な取り組みを実施する必要があります。
- Google は、プラットフォームサービスとしての限界など、私たちが指摘した点を意識しつつ、具体的な透明性の具現化に向けた一連の対話に取り組むたいと考えています。



ありがとうございました。